

10月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



10/5 最初に中野駅前
で赤い羽根共同募金の
活動をしました。雨模様
でしたが、みんなで一生

懸命声を出して募金を呼びかけまし
た。小さな子が募金箱を持っている
と、多くの方が募金して下さいまし
た。なかのZEROに戻ってから、募

金したお金を数えました。その後は、



南川Lや志帆Lが夏休みに出かけた外国の場所を地球儀
で見つけてみたり、お話を聞きました。志帆Lは以前から海外のボーイスカウトと交流経験が
あるので、その時に交換してきた外国のネッカチーフなどをいろいろ見せてくれました。また、説明会
に来たお友達と一緒に宝探しをして楽しみました。
10/19 五日市に
ハイキングに出か
けました。前回の公
園ハイキングとは
打って変わり、しっ
かりとした「山道ハイキング」です。秋川丘陵を歩き、目的地
の小峰公園まで、山の頂上を2つ通過するコースです。300m
前後という小さい山ですが、本格的な山道を歩きます。地図や
写真と照らし合わせて、目印を見つけながら歩きました。道
中の道しるべやそこに書かれた数字、写真と実物の微妙な違い
にまで、持ち前の好奇心と観察眼を発揮して保護者やリーダー
を引っ張っていく姿が見られました。なれない子は疲れちゃう
かな?と思いましたが、みんなしっかり歩いて小峰公園までた
どり着き、公園では元気に遊具を満喫していました。



南川Lや志帆Lが夏休みに出かけた外国の場所を地球儀
で見つけてみたり、お話を聞きました。志帆Lは以前から海外のボーイスカウトと交流経験が
あるので、その時に交換してきた外国のネッカチーフなどをいろいろ見せてくれました。また、説明会
に来たお友達と一緒に宝探しをして楽しみました。

10/19 五日市に
ハイキングに出か
けました。前回の公
園ハイキングとは
打って変わり、しっ
かりとした「山道ハイキング」です。



カブ(CS)隊



10/5 まず中野駅周
辺で赤い羽根の募金活
動をしました。募金の
あとは、ピンホールカ
メラを作りました。リーダーが用意
したカメラのキットを組み立てま
す。カメラといえばデジタルカメラ
しか知らないスカウト達、フィルム
というものだけでも初めてなのに、
レンズが無いカメラ? こんな
ので本当に写真が
とれるのだろう



か不思議そうでした。

10/19 秋のハイキングに出かけました。普段の
ハイキングより足を延ばして、御岳山まで出かけ
ました。ケーブルカーには乗りましたが、深い谷
へ下り、滝を見たり、大岩の上に登ったり、大自
然を満喫しました。もう一つの目的は、前回の集
会で作ったカメラでの撮影です。秋を探し映しま





す。ファインダーも無く、数秒間は動かしてはいけません。はたしてどんな写真が出来上がっているか楽しみです。

**ビーバースカウト、カブスカウト
大募集中です。
お知り合いへのお声かけ、ご紹介を
お願いします。**

ボーイ(BS)隊

10/5 初めに、ビーバー隊・カブ隊と一緒に中野駅周辺で赤い羽根の募金活動をしました。ボーイ隊のスカウトは数名ごとにカブ隊のグループに混じり、後輩たちをサポートしました。その後、来週に行われるキャンプに向けて役割決めなどの準備をしました。

10/12 船橋市青少年キャンプ場で1泊2日のウェルカムキャンプを行う予定でしたが、大型の台風が接近するという予報だったのでキャンプを中止にし、1日だけの野外班集会を行いました。見習いスカウトの初級科目習得に取り組み、時間が短縮されたせいか集中して行うことができました。



10/26 昭和地区まつり奉仕に3名のスカウトが参加しました。人数が少ないながらもしっかり活動ができました。最近、奉仕活動になると参加スカウト人数が減る傾向が見受けられるので、奉仕の機会をしっかりと生かせるような体制に取り組んでいきたいと考えています。



バンチャー(VS)隊



10/5 まずは赤い羽根募金活動を行いました。カブ隊やボーイ隊のグループに分かれて参加し、サポートしました。その後は隊会議を行い、今年度のバンチャー隊の年間テーマを「Fly high!! (飛躍)」と決定しました。だんだんスカウトだけで会議を進行していけるような形を目指しています。

10/14 プロジェクト会議を行い、OくんとTさんが参加しました。Tさんのプロジェクト計画を先輩のOくんが支援するという形で進行しました。

10/19 プロジェクト会議にOくんが参加しました。翌週の昭和地区まつり奉仕に向けて準備をしました。



10/26 昭和地区まつり奉仕を行いました。Oくんが取り組んでいる富士章取得科目プロジェクトとしての、地域への奉仕参画です。企画段階から地域の方々と一緒に準備を行い、無事にイベントが終了しました。Tさんも参加し、8団コーナーの運営を行いました。



10月のスカウト進歩情報

BVS :	Y. T. くん	小枝章5
	K. M. さん	小枝章5
	H. O. さん	小枝章4
	T. Y. くん	小枝章4
	R. U. くん	小枝章2
	H. O. くん	小枝章1
CS :	C. M. さん	チャレンジ章「自然観察官」
VS :	K. Y. くん	野営章



「第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)」の事前準備が動き出したのでご紹介いたします。

世界スカウトジャンボリーは、4年に1度開かれる世界スカウト機構主催のスカウトの大会です。世界スカウト機構は、世界で3,000万人が参画する世界最大の青少年運動組織です。2015年に山口県山口市・きらら浜で開催される予定の第23回世界スカウトジャンボリーには、世界162の国と地域から約3万人の青少年が集まり、約2週間にわたって、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共有します。

40年ぶりに日本で行われるこの世界ジャンボリーに、中野8団からはボーイ隊のY. S. くんが参加します。また派遣隊指導者として、ベンチャー隊のKリーダーが参加します。他にもIST(国際サポートチーム)としてローバ

ー隊のNさんが参加を予定しています。

会期：2015年7月28日(火)～8月8日(土) (予定)

会場：山口県山口市阿知須・きらら浜他

参加者：世界162の国と地域から約3万人

参加対象者：世界各国の14歳から17歳のスカウトと引率指導者
18歳以上のスタッフとして参加する指導者

10月13日に、初めての隊説明会が行われ、参加スカウトのSくんと保護者、ボーイ隊K隊長が参加しました。Sくんは、あすなろ地区(中野区・杉並区)と世田谷地区で編成される派遣隊の一員としてジャンボリーに参加することになります。

なお、中野8団から世界ジャンボリーへは、2007年の21WSJ(イギリス)にKくん(現VS副長補)、2011年の22WSJ(スウェーデン)にNさん(現RS/BVS副長補)とOくん(現VS)が参加した経験があります。



第23回世界スカウトジャンボリーについては、こちらのウェブサイト詳しく掲載されています。 http://www.23wsj.jp/index_j.html

ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

10/19のカブ隊のハイキングには、40年前のカブスカウトも参加!?当時のハイキングではケーブルカーを使わずに下から歩いて登ったそうです。「昔を思い出して歩こう!」と2人の元カブスカウトは、現在のスカウトたちから分かれて元気よく(?)登って行きました。ケーブルカー一組に遅れてはならじとかなり早足で登ったそうです。おかげでビジターセンターに立ち寄ったスカウトたちよりも早く、頂上の神社に到着。「ま〜だ〜?」と連絡するほどの余裕を見せてはいましたが、実際には額には玉のような汗・・・昔を思い出せましたか?という問いには、「もうやるもんじゃないな・・・」という感想だったとか(^_^; いや、いいもんですよね。昔の仲間と今も一緒にスカウト活動で山歩き。今でも元気いっぱいのお委員さんたちです。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



- * 活動の写真はホームページにアップされています。最新データまでアップデートされています。
 - * 個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
- <http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>

リーダーの活動

- 10/2 地区円卓会議
- 10/2 地区歌とゲームの集い実行委員会
- 10/5 ふみそのらんど
- 10/5 団会議
- 10/9 中間登録
- 10/11 フェスタ谷戸実行委
- 10/12 杉並舞祭奉仕
- 10/14 地区コミ会議
- 10/23 地区委員会
- 10/25 昭和地区まつり前日準備
- 10/26 昭和地区まつり
- 10/26 地区BS講習会奉仕
- 10/27 地区野営行事・安全管理委員会
- 10/30 地区「歌とゲームのつどい」実行委員会
- 10/31 フェスタ谷戸実行委

スカウト豆知識

「そなえよつねに」と「いやさか」

スカウトのモットー(規範)は『そなえよつねに』(備えよ常に)。英語では Be Prepared といひます。世界各国のボーイスカウト共通のモットーです。「備えあれば憂いなし」のことわざと同じ意味ではありますが、モットーはそれよりももっと積極的に解釈し、「いつでも準備はできているぞ、さあこい」という態勢にあるべきものです。モットーの実践は、ちかいとおきてを守り、日々の善行を実行することによってできるもので、このためには、日常の訓練に励むことによってスカウト技能を十分に研究し、繰り返し練習して自分のものにしておくべきと言えます。“そなえよつねに”とは、ただ未来に備えるばかりでなく、現在のスカウティングに励み、積みあげることが未来の準備になることだということを忘れてはなりません。なお、ビーバースカウトのモットーは『なかよし』、カブスカウトのモットーは、『いつも元気』です。

「いやさか」は、日本古来の言葉で「弥栄」と書き「ますます栄える」という意味です。ボーイスカウト日本連盟が設立されたころに日本の指導者の育ての親であった佐野常羽氏が、イギリスの研修所で日本の祝声を披露する機会に「いやさか」を使ったことに始まります。いやさかの声や意味がスカウトの祝声としてたいへんよいことから、万歳のかわりに、相手を賞賛するときなどに使ひます。祝声の際には3回唱えます。カブスカウトの祝声は、隊の成り立ちの動物に合わせ「(おめでとう) ウォー、ウォー、ウォー」。ビーバースカウトの祝声は、小さい子にもわかりやすく「(おめでとう) ビーバー」です。